

文部科学省が作成した、「働き方改革事例集」の一部を紹介します。

各地域・保護者の学校に対する考え方がそれぞれ違うことや、事前にさまざまなとりくみが行われたことなどを考慮しながら、この資料をご覧ください。

注：デジタル化、Web 活用に関するものは、除いてあります。

全国の学校における働き方改革事例集
(抜粋) 令和3年3月文部科学省

○ テスト作成・採点…1学期の定期テストや中間考査をなくした。

○ **通知表の作成・点検**…通知表の所見をなくした。通知表の押印欄をなくした。通知表の保護者印をなくし、家庭での保管とした。

○ **給食指導**…自動手指消毒器の全クラス設置をした。

○ **クラブ・委員会活動**…活動頻度の低い委員会は廃止とし、活動内容が近い委員会は統合することで全体の委員会数を減らした。

○ **運動会・体育祭**…実施種目を削減したりして、時間の短縮を図った。半日日程や学年実施にして簡略化をはかった。

- **部活動**…部活動の精選。休日の活動をはじめとした地域への移行。顧問の複数制・シフト制。
- **校務分掌**…担任持ち上がり制の見直し
- **日課表の見直し**…朝活動・昼休み・清掃なし or 短縮日の設定。登下校時刻の見直し。短縮授業の実施。モジュールの活用。

各学校が働き方改革を進めるにあたっては、業務量を見直すことが大きなポイントになります。取組例のなかには、「これをなくしてしまって大丈夫？」と賛否両論があるものも含まれるかもしれません。これまで学校で積み重ねてきた教育活動は、必ず何かしらの教育的意義があって実施してきたことばかりであり、その活動自体が否定されるものではありません。しかし、人・モノ・カネ・時間という限りあるリソースを有効活用するために、業務に優先順位をつけて精選を進めていく必要があります。取組例は、その学校、そこにいる子供たちにとっての優先順位付けをし熟慮を重ねた結果となります。取組例がすべての学校にフィットするわけではありませんが、各学校や地域

の実情を踏まえながら、働き方改革推進のための参考にしていただければ幸いです。

※ 全国の学校における働き方改革事例集
(令和3年3月) はじめに より抜粋